

令和6年度（2024年度）

特定行為研修 募集要項

領域別パッケージ「外科術後病棟管理領域」 4月開講

区分別研修 4月開講

領域別パッケージ「救急領域」 10月開講

八戸市立市民病院

I. 特定行為研修の目的

超高齢多死社会を迎え、脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病・高血圧患者に対する急性期医療への対応、生活習慣病などの慢性疾患や認知症を抱える高齢者が増加し、医療や介護の需要が増大しつつあります。そのため、地域医療の基幹病院の役割として緊急・重症患者の生命を救うことができる専門性の高い看護師の育成、そして回復期・慢性期病床や暮らしの場に移行できる状態にまで回復を図り、患者を総合的に捉え、質の高い医療・ケアを効率的に提供できる専門性の高い看護師の育成が必要になります。急性期医療での看護の質が患者の回復と「生活の質」の改善の程度に大きく影響します。この役割を担う特定行為研修を修了した看護師を育成することを目的とし、2020年10月より特定行為研修を開始しています。

また、医師の業務負担軽減と質の高い医療が維持できるように、特定行為研修修了した看護師を育成、活用していくことが必要だと考えます。この特定行為研修を修了した看護師を育成することは、看護の視点のみならず医学の視点から患者の疾患・症状を理解した看護ケアを提供でき、他看護師のロールモデルとなることで、当院が目指す専門職として自立した看護師の育成の役割を担うことができると考えております。

さらに当院が特定行為研修機関となることで、近隣医療機関の看護師にとっても受講しやすい、スキルアップできる環境を提供できることにもつながり、地域全体の医療の質向上にも貢献できると考えております。

II. 研修理念

病院理念である「恕いやりの心」を常に持ち、医師・その他医療関係者から期待される役割を十分に担うため、医療安全に配慮し、高度な臨床実践能力を発揮できるよう、自己研鑽を継続し自己成長を図り、チーム医療の要として急性期医療に貢献できる看護師を育成する。

III. 研修目標

- ① 急性期医療において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につける
- ② 必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的な能力を身につける
- ③ 患者の安全に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践する能力を身につける
- ④ 問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を身につける
- ⑤ 自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につける
- ⑥ 急性期医療において当該特定行為を行うための知識、技術および態度の基礎を身につける
- ⑦ 医師から手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施および報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける

IV. 修了要件

本研修を修了するためには、次の以下の要件を満たし、当院の特定行為研修管理委員会において修了が認定された場合、科目別履修証明書及び修了証を交付します。

- ① 共通科目を全て履修し、筆記試験並びに観察評価に合格すること。
- ② ①修了後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験及び観察評価、一部の科目では実技試験に合格すること。なお、特定行為研修終了後は、当院において修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

* 所定の研修を修了した者には、研修管理委員会の議を経て院長から修了証を交付します。

V. 履修免除について 詳細は履修免除の規定を参照

- ① 当院又は他機関が実施した特定行為研修等において、共通科目を修了し履修免除を受けようとする出願者は、出願時に履修免除申請書に修了証を添えて申請するものとします。
- ② 前項の申請があったときは、特定行為研修管理委員会において、共通科目の履修免除の可否を決定します。
- ③ 前項の規定により共通科目の履修免除が認定されたときは、共通科目の講義受講料を免除するものとします。

VI. 特定行為研修での学びについて

◆ 外科術後病棟管理領域パッケージ

外科医療に必要な特定行為を学ぶことにより、標準的外科医療を受けた患者ばかりではなく、比較的重症度が高く、また、ある一定以上の入院加療が必要な患者に対して看護師が臨床推論をもとに判断し特定行為をタイムリーに実施することができます。その結果、合併症の予防、さらなる重症化の回避、治療、ケアの遅延を防ぎ、回復過程を促進へと繋げることができます。外科系診療に携わる医師および関連領域の医師の指導のもと、外科術後病棟管理領域に必要な特定行為に関して、専門的な知識と技術を習得した看護師を育成し、外科医療における医療サービスの質を高めるために、外科術後病棟管理領域パッケージを開講します。

◆ 区分別研修（12 区分）

周術期看護において、せん妄予防や早期離床に重点的に取り組み、生活機能を低下させることなく退院できるように看護してきましたが、重要な病態の変化や疾患を包括的にアセスメントすること、必要な治療を理解し看護ケアを導くことに困難感をもつ看護師が多い現状があります。一つの区分の特定行為でも実践できる力を看護師が身につけることが必要です。また、外科術後病棟管理領域パッケージと同じ 12 区分の特定行為について、すでに特定行為研修を修了している看護師が追加として履修することにより、実施できる特定行為を増やすことにつながり、その結果、合併症の予防、さらなる重症化の回避、治療、

ケアの遅延を防ぎ、回復過程を促進へと繋げることができます。

一方、領域パッケージ研修では履修内容が多く受講に困難感を抱く看護師がいることから、パッケージ研修に加え自由選択できる区分別研修を開講します。これにより、それぞれの看護師が自分の看護実践に必要な特定行為区分を選択し、ひとつひとつの特定行為実践を積み上げ、自分のペースで無理なく学ぶことができます。看護師が無理なく特定行為研修を受講することができる環境を整えることで、研修を実行可能とすることにつながり、特定行為を実施できる看護師の育成が進み、増員につなげることができると考え、12区分の区分別研修も実施します。

◆ 救急領域パッケージ

迅速な対応が求められる救急医療現場に複数の救急患者が搬送される中で、看護師が救急領域パッケージを学べば、共通科目でのフィジカルアセスメントや臨床推論を活かしてトリアージできる上に、予め定められた手順書に基づいて、医師の直接的指示なしに呼吸管理・循環管理・鎮静などの複数の行為を実践できるようになります。医師が初診を行い、集中治療が必要な患者が複数いるような場合に、救急領域パッケージ研修を修了した看護師が増え特定行為を実施できれば、多忙を極める救命救急科の医師の負担が軽減できると期待され、緊急度の高い患者さんの危機状態を迅速に回避し、早期回復に繋げることができます。特に夜間など救命救急医師の人数が少ない場合や、災害発生時などにおいても活躍の場が期待できると考え、医療サービスの質を高めるために救急領域パッケージを開講しております。

(1) 定員

総定員数は13名

- ・ 領域別パッケージ「外科術後病棟管理領域」2名
- ・ 区分別研修 区分ごとに3名
- ・ 領域別パッケージ「救急領域」8名

(2) 研修期間と募集時期

研修期間は原則1年(12ヶ月)とし、在籍期間は2年(24ヶ月)を限度とします。

* 共通科目を履修後、区分別科目を受講開始します。

(3) 共通科目及び特定行為区分別科目の時間数、研修方法、評価方法

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、研修は講義、演習、または実習によって行われます。共通科目の講義は病院や自宅でeラーニングによる受講が可能ですが、演習・実習については病院内で実施します。eラーニングによる受講には、インターネット環境のあるパソコン、タブレット、スマートフォン等が必要です。

● 共通科目（試験時間を含む）

共通科目名	時間数	小計
臨床病態生理学	30 時間	250 時間
臨床推論	45 時間	
フィジカルアセスメント	45 時間	
臨床薬理学	45 時間	
疾病・臨床病態概論	40 時間	
医療安全学／特定行為実践	45 時間	

● 区分別科目（選択科目）（試験時間を除く）

No	特定行為区分	時間数
1	救急領域	82 時間
2	外科術後病棟管理領域パッケージ	119 時間
①	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9 時間
②	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	29 時間
③	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8 時間
④	胸腔ドレーン管理関連	13 時間
⑤	腹腔ドレーン管理関連	8 時間
⑥	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	7 時間
⑦	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	8 時間
⑧	創部ドレーン管理関連	5 時間
⑨	動脈血液ガス分析関連	13 時間
⑩	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 時間
⑪	術後疼痛管理関連	8 時間
⑫	循環動態に係る薬剤投与関連	28 時間

(4) 履修モデル

- ・ 共通科目を修了後、定められた特定行為区分別科目を履修します。
- ・ 区分別科目毎に筆記試験、実習期間が異なります。

● 特定行為研修スケジュール

科目別・1年コース（共通科目 6 ヶ月+区分別科目 6 ヶ月）

講義	個人による e ラーニングのため、期間は目安とする(週 15 時間程度)
演習	指定した期間に行う
実習・評価	指定した期間に行う
O S C E	指定した期間に行う
科目修了試験	指定した期間に行う
予備期間	予備期間 指定した期間内に終了できなかった場合、この期間で行う

(5) 受講要件

当院の看護師特定行為研修志願者は、次の①～③に定めるすべての要件を満たしていることが必要となります。

- ① 日本国の看護師免許を有すること
- ② 看護師免許取得後、看護実務経験が通年 5 年以上であること
- ③ 救急領域または外科領域の看護経験が 3 年以上であることが望ましい

(6) 研修の実効性確保のための対応について

共通科目に関しては、e ラーニングを導入しており、自分の勤務、あるいは学習スタイルに合わせ、計画を立て進めていくことができるようにしています。共通科目の演習・実習に関しては、平日日勤とし、期間を 6 ヶ月としています。

区分別科目に関しては、期間を 6 ヶ月としており、余裕をもって演習・実習できるよう工夫しています。区分別科目の演習・実習に関しては、平日日勤に集中して受講してもらうようにしており、夜勤も可能となっています。

講義・演習・実習時間不足分についての対応として、私事・災害・忌引き・指定感染症等の理由の如何に関わらず遅刻・早退・欠席により、研修時間が規定より少ない場合には補習を行います。

- ・ 共通科目の補習時間の調整により、区分別科目の開始や終了に影響を及ぼす可能性のあることを十分に留意します。
- ・ 演習・実習における時間不足分に対しては、指導者と調整のうえ後日、演習・実習を行い、レポートを提出することとします。

これらの工夫により、12 ヶ月の期間すべて休職する必要はなく、受講生の学習スタイルに応じて受講前とまったく同じとはいかないが、就労しながらの受講を支援します。

ただし、12 ヶ月の期間のなかで、受講生によっては就労と学習の両立が難しく進捗が遅れることも予測されるため、その点に関しては所属施設と相談しながら短時間勤務に変更あるいは休職するといったことも必要と考えます。

(7) 研修受講料について

別表 1 のとおり

(8) 研修生募集方法

① 出願手続き

当院ホームページ内の申込みフォームより手続きをしてください

② 出願書類

- ・ 上記、申込みフォームの入力
- ・ 受講同意書（別紙様式1）
- ・ 推薦書（別紙様式2）
- ・ 臨地実習承諾書（別紙様式3）
- ・ 看護師免許証
- ・ 顔写真

③ 募集概要

- 4月開講 領域別パッケージ「外科術後病棟管理領域」 第3期生
- 4月開講 区分別研修 第3期生
- 10月開講 領域別パッケージ「救急領域」 第5期生

④ 募集期間

- 領域別パッケージ「外科術後病棟管理領域」 令和5年12月1日～令和6年1月12日
- 区分別研修 令和5年12月1日～令和6年1月12日
- 領域別パッケージ「救急領域」 令和6年5月1日～令和6年5月31日

⑤ 選考方法 書類、応募多数の場合はオンライン面接審査

⑥ 選考結果

- 領域別パッケージ「外科術後病棟管理領域」 令和6年2月末日までにメールにて通知
- 区分別研修 令和6年2月末日までにメールにて通知
- 領域別パッケージ「救急領域」 令和6年7月末日までにメールにて通知

⑦ 受講料等納付方法

可否通知の際に詳細通知

なお、受講にあたっては日本看護協会の賠償責任保険に加入していただきます。

(1) 受講料等の費用

費 目			費用（消費税込）
受講審査料			10,000 円
受講納付金			10,000 円
共通科目受講料			300,000 円
区分別科目 受講料	1	救急領域	378,000 円
	2	外科術後病棟管理領域パッケージ	678,000 円
	①	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	40,000 円
	②	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	80,000 円
	③	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	50,000 円
	④	胸腔ドレーン管理関連	50,000 円
	⑤	腹腔ドレーン管理関連	40,000 円
	⑥	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	80,000 円
	⑦	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	80,000 円
	⑧	創部ドレーン管理関連	40,000 円
	⑨	動脈血液ガス分析関連	50,000 円
	⑩	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	50,000 円
	⑪	術後疼痛管理関連	50,000 円
	⑫	循環動態に係る薬剤投与関連	80,000 円

(2) 補修講義等の費用

費 目	費用（消費税込）
補修講義、補修実習、補修演習、補修実習	無料
再実習	1 日あたり 3,000 円
再試験	1 科目 3,000 円

(3) 追試験等の費用

費 目	費用（消費税込）
追試験、追実習	無料
再試験	1 科目 3,000 円
再実習	1 日あたり 3,000 円